



RESEARCHERS, SEEDS & NEEDS

PAZ RESEARCH LINK GUIDE BOOK

群馬パース大学 研究シーズ・ニーズ集



群馬パース大学
研究・産学連携推進室



群馬パース大学
Gunma Paz University



群馬パース大学

群馬パース大学は、9つの医療専門職を養成する医療系大学です。
また、PAZグループとして群馬県内に多数の医療・介護施設を有し、「教育」「医療・福祉」「研究」の各分野が連携することで、地域および社会への貢献を目指しています。

3学部7学科

■看護学部

看護学科 ……看護師課程に加え、保健師・助産師の課程を設置しています。

■リハビリテーション学部

理学療法学科 ……地域の方々と関わる授業や、プロスポーツ選手を支援する研究・学術活動を通して実践的な能力を養います。

作業療法学科 ……3Dプリンター、e-Sports、AIロボットなどの先進的機器を使い、利便性の追求だけでなく、個々の価値を尊重した支援を学びます。

言語聴覚学科 ……屋外でのフィールドワークを取り入れた「地域参加支援演習」で、共生の街づくりの知識と実践を学びます

■医療技術学部

検査技術学科 ……検査値の個々の異常から、患者さんの病態を推測でき、臨床現場で診療のサポートができる臨床検査技術を育成します。

放射線学科 ……現場を想定した医療機器を整備し、原理や仕組みを理解するだけではなく、臨床現場での活用法や機器管理、医療安全も含め総合的に学びます。

臨床工学科 ……臨床現場を想定し、人工呼吸器、人工心肺装置、血液浄化装置（透析装置）など、実際の医療機器を操作しながら実践力を身に付けます。

2026年度 在籍学生数 2026年4月1日現在

群馬パース大学		在籍人数
看護学部	看護学科	344
	理学療法学科	262
リハビリテーション学部	作業療法学科	121
	言語聴覚学科	120
	検査技術学科	263
医療技術学部	放射線学科	314
	臨床工学科	165
3学部計		1,589
群馬パース大学大学院		在籍人数
保健科学研究科	博士前期課程	17
保健科学専攻	博士前後期程	4
研究科計		21
群馬パース大学福祉専門学校		在籍人数
社会福祉専門課程	介護福祉学科	98
総合計		1,708

2028年4月 前橋に新キャンパス開校(予定)

2028年4月、前橋市に新キャンパスを開校予定です。あわせて、保健栄養科学部 医療栄養学科（仮称）を新設し、医療現場に強い管理栄養士の養成を目指します。



前橋キャンパス*設置構想中 ※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合がございます。

2026年
オープン
キャンパス
開催！

6月28日(日) 7月5日(日) 7月12日(日)

8月1日(土)・2日(日)

8月22日(土)・23日(日)



地域健康づくり実践教育研究施設

【Well-B Lab.】

ウェルビーラボ

前橋キャンパスの開校に先駆け、地域健康づくり実践教育研究施設「ウェルビーラボ」を開校しました。

身体動作解析などの研究設備を備え、地域住民やスポーツ団体の受け入れを行うほか、高齢者向け転倒予防講座の開催などを通じて地域連携を推進しています。



総合運動学実習室

企業等との研究交流

群馬パース大学では、専門性の高い教員と充実した研究設備を活用し、共同研究・受託研究を実施しています。

液体ヘリウムを
まったく使わない
超電導MRI



共同研究の 特徴・メリット

- 双方が主体的に関与するため、柔軟な研究設計が可能
- 研究成果を双方で活用可能
- 実践的ニーズと学術的知見の融合により高い研究効果が期待できる
- 継続的な交流により長期的な連携へ発展

実施までの流れ

相談・打合せ



研究テーマ、課題、
役割分担等を協議

研究計画・費用検討



計画書案および
研究費を調整

契約手続き



共同研究契約を締結

研究実施



双方協力のもと
研究を推進

成果評価・報告



成果確認および
活用方法を協議

主な共同研究先企業（順不同）

パナソニック HVAC & CC 株式会社、ロンシール工業株式会社、株式会社ニイタカ、株式会社バイオバンク、タカラバイオ株式会社、ソニー株式会社、日本トリム株式会社、他



受託研究の 特徴・メリット

- 大学の専門設備・技術を活用可能
- 中立的・学術的立場による信頼性の高い成果
- 大学主体のため進行管理が明確

実施までの流れ

相談・ヒアリング



課題やニーズの把握

研究計画・見積作成



内容に応じた
計画書・費用提示

契約手続き



受託研究契約を締結

研究実施



計画に基づき遂行

成果報告



報告書提出
および成果説明

お問い合わせ

群馬パース大学 総務課（研究・産学連携推進室）
370-0006 群馬県高崎市問屋町 1-7-1
TEL.027-365-3374
MAIL paz-kenkyu@paz.ac.jp



HP



インスタ



LINE



X



FB

TABLE OF CONTENTS 目次

01. 大学紹介		02
02. 目次		04
● 看護学部		
03. 看護学科		05
● リハビリテーション学部		
04. 理学療法学科		41
05. 作業療法学科		57
06. 言語聴覚学科		70
● 医療技術学部		
07. 検査技術学科		80
08. 放射線学科		95
09. 臨床工学科		110
● 教養部		
10. 教養部		124

Profile



矢島 正栄

Yajima Masae

- ・看護学部長・保健科学研究科長・看護実践教育センター センター長・教授
- 研究分野 公衆衛生看護学
- 学位 博士（保健学）

- ・保健師の対象別活動方法に関する研究
- ・精神障害者
- ・難病療養者の地域支援体制に関する研究 など

現在取り組んでいる研究テーマ

学齢期の発達障害児支援

今後取り組みたい研究テーマ

地域における発達障害者(児)支援体制の構築

Profile



萩原 一美

Hagiwara Kazumi

- ・看護学科長・教授

研究分野 看護教育・看護マネジメント

キャリア開発

学位 修士（看護学）

- ・看護教員のキャリア開発・キャリア発達
- ・教育方法に関する研究
- ・看護技術に関する研究
- ・看護基礎教育のカリキュラム

現在取り組んでいる研究テーマ

看護学生のコミュニケーションスキルを向上させるプログラムの開発

今後取り組みたい研究テーマ

臨地実習前の仮想病棟での模擬実習体験とその効果

Profile



小林 亜由美

Kobayashi Ayumi

- ・教授

研究分野 公衆衛生看護学

(成人・高齢者保健・在宅看護)

学位 博士(保健学)

- ・地域住民の日常生活と健康に関する研究
- ・日本人女性看護職の日常生活と健康に関する研究
- ・医療・福祉系学生の喫煙および薬物依存防止教育に関する研究
- ・地域看護学の教育方法に関する研究
- ・介護保険制度下における居宅サービスの質に関する研究
- ・高齢者の不適切処遇に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

日本人女性の更年期における大豆食品摂取と更年期のほてりに関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

日本人女性のエクオール産生能、大豆製品摂取と更年期のほてりに関する研究

Profile



中下 富子

Nakashita Tomiko

・ 教授

研究分野 養護学・小児看護学・学校保健

学位 博士（保健学）

- ・ 養護教諭・養護・養護学に関する研究
- ・ 知的障害を抱える子どもと家族への支援に関する研究
- ・ 外国につながる子どもと家族の健康支援に関する研究
- ・ 健康課題を抱える子どもと家族への支援に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

理科の授業を活用した持続可能な健康戦略～在日ブラジル人の子どもの生活習慣予防～、健康課題を抱える外国人児童生徒への養護教諭の支援プロセス、疾病や障害をもつ子どもへの多職種との連携に着目して支援する統合実習での学生の学び、通所施設における在宅重症心身障害児者へのパペットセラピー

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

Profile



西川 薫

Nishikawa Kaoru

- 教授

研究分野 精神看護学

学位 博士（学術）

- 1.長期入院精神障害者の退院支援に関する研究
- 2.精神障害者「家族」の思いに関する研究
- 3.精神科看護師の傷つきに関する研究
- 4.精神科病院における認知症高齢者に関する研究
- 5.精神障害者の政策に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

地域在住の精神障がいを抱える生活保護受給者の健康管理支援の課題

今後取り組みたい研究テーマ

地域在住の精神障がいを抱える生活保護受給者の健康管理支援プログラムの策定

Profile



萩原 英子

Hagiwara Eiko

- ・ 教授

研究分野 成人看護学

学位 修士（保健学）

- (1) がん患者の意思決定を支える看護に関する研究
- (2) がん患者の疾患・治療への心理的適応に関する研究
- (3) 乳がん患者のボディ・イメージの変容に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

ピアサポートを活用した若年乳がん患者の療養生活を支援するサポートプログラムの開発、外来化学療法を受ける若年女性がんサバイバーに対するアピアランスケアモデルの構築

今後取り組みたい研究テーマ

がん教育推進プログラムの構築

Profile



中島 久美子

Nakajima Kumiko

- ・ 教授

研究分野 母性看護学・助産学

学位 博士（保健学）

- (1) 親への移行期における夫婦のパートナーシップに関する研究
- (2) 妊娠・出産・育児期ある女性とパートナーへの助産ケアに関する研究
- (3) リプロダクティブヘルス・ライツの推進に関する研究
- (4) 母性看護学・助産学の教授法に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・ 親への移行期にある夫婦の関係性を高める助産支援の実装研究
- ・ 若年男女のプレコンセプションケアの介入研究（健康行動と性教育のピアエデュケーション）

今後取り組みたい研究テーマ

- ・ 助産師教育における分娩介助VR教材の教育的効果
- ・ 上記研究の継続

Profile



奥野 みどり

Okuno Midori

- ・ 教授

研究分野 地域における乳幼児期からの
発達障害の早期発見・支援に関わる研究など

学位 博士（保健福祉学）

- ①乳幼児健診における発達障害の早期発見支援に関する問診
ツールSocial Attention and Communication Surveillance-
Japan (SACS-J) の活用と普及
- ②乳幼児健康診査後の2次スクリーニングAutism Detection
in Early Childhood-Japanese (ADEC-J) おける発達支援
に関する研究
- ③地域での発達障害児等への支援に関する研究等

現在取り組んでいる研究テーマ

乳幼児健診における発達障害の早期発見支援

今後取り組みたい研究テーマ

乳幼児期の療育の可能性

NURSE

Profile



堀越 政孝

HORIKOSHI Masataka

- 准教授
研究分野 成人看護学
学位 博士（保健学）

- 消化器がん患者のセルフケアや生活支援に関する研究
- 消化器系疾患患者における栄養代謝に関する研究
- 病院から地域へつなぐための看護支援に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

消化器がん術後患者の機能障害へのセルフマネジメント

今後取り組みたい研究テーマ

がん患者の栄養代謝に関する研究、栄養学的な介入

Profile



金子 吉美

Kaneko Yoshimi

- 准教授
研究分野 看護学
学位 修士（保健学）

- 看護教育に関する研究
- 筋萎縮性側索硬化症患者の看護、栄養に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

成人看護学実習における模擬患者参加型演習の効果に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

脳神経疾患をもつ患者とその家族の看護に関する研究

Profile



堀込 由紀

Horigome Yuki

- ・ 准教授

研究分野 基礎看護学・看護情報学

学位 博士（看護学）

医療の質・安全、看護情報学

看護の知的サービスの社会的適応、遠隔医療・看護

現在取り組んでいる研究テーマ

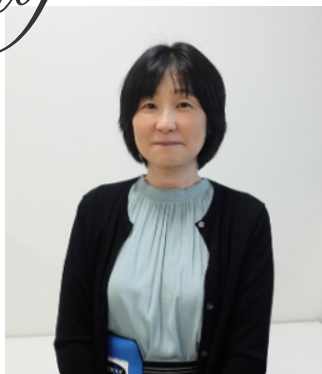
看護補助者への看護師の指示出しに関する研究

異文化コミュニケーション促進に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

Profile



橋爪 由紀子

Hashizume Yukiko

- 准教授

研究分野 母性看護学・助産学

学位 修士（保健学）

（１）母乳育児支援に関する研究

（２）子育て支援に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

中小企業に勤務する妊娠初期の女性が就労継続に向けた看護ケア

今後取り組みたい研究テーマ

妊娠初期における女性の就労継続に向けた看護ケアの構築

Profile



木村 美香

Kimura Mika

- 准教授
研究分野 成人看護学・看護管理学
学位 博士（看護学）

- 透析導入に伴う移行に関する研究
- 在宅移行に関する研究
- 看護師のOJT（On the Job Training）に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

糖尿病性腎症高齢患者の透析導入に伴う移行見通し
測定尺度：腹膜透析患者版の信頼性と妥当性の検証

今後取り組みたい研究テーマ

糖尿病性腎症高齢患者の透析導入に伴う移行見通し
促進プログラムの開発と評価

NURSE

Profile



大川 美千代

Okawa Michiyo

- 准教授
研究分野 基礎看護学
学位 博士（看護）

看護技術に関する基礎的研究

看護技術教育、死と看取りの歴史研究

現在取り組んでいる研究テーマ

群馬県における伝染病と看護に関する歴史的研究

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

NURSE

Profile



福島 昌子

Fukushima Masako

- ・ 准教授
研究分野 老年看護学
学位 博士（看護学）

高齢者のエンドオブライフケア、急性期病院における認知症高齢者の看護に関する研究、一人暮らし高齢者・高齢者世帯の地域ケアシステムに関する研究、難病療養者への支援に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・ 急性期病院における認知症高齢者への理解を深める看護実践に関する研究
- ・ 看護学生の高齢者に対するイメージや態度に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続、高齢者のエンドオブライフケアに関する研究、入院中の高齢者のフレイル予防に関する研究

Profile



長 嶺 めぐみ

Nagamine Megumi

・ 講師

研究分野 基礎看護学・成人看護学・

国際看護

学位 博士（看護学）

在留外国人の健康問題、医療通訳

現在取り組んでいる研究テーマ

1. 異文化に関する看護研究の動向
2. 異文化に関する看護学生の認識
3. 文化的能力向上を目指した教育実践における留学生の
学びと看護学生の学びの差異
4. 国際看護学補完システムの構築：教員
5. 国際看護学補完システムの構築：学生
6. 外国人介護福祉候補生の看護観の変容とその影響因子
7. 介護福祉士を目指す留学生の文化変容に関する研究
8. 冷え性に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

Profile



反町 真由

Sorimachi Mayu

- ・ 講師

研究分野 成人看護学

学位 修士（保健学）

がん看護、家族看護

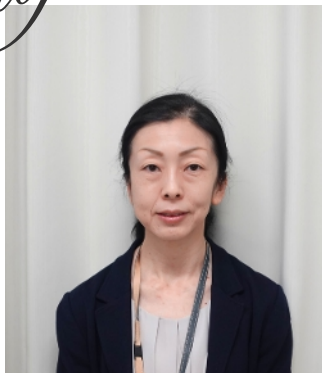
現在取り組んでいる研究テーマ

- ①がん相談支援センターにおける子育て期の女性がん患者の在宅移行支援に関する全国調査
- ②退院支援調整部門における子育て期の女性がん患者の在宅移行につながる有効的支援に関する実態調査

今後取り組みたい研究テーマ

- ①中年期男性のフレイル認識と社会参加行動に関する全国横断的調査－予防的介入設計のための基盤形成研究
- ②子育て期に妻を在宅で看取る夫の多重葛藤と、家族を孤立させない地域連携支援のあり方

Profile



東 泉 貴 子

Tosen Takako

- 講師

研究分野 老年看護学・看護教育

学位 修士（保健学）

認知症高齢者看護に関する研究

看護教育に関する研究

看護師のストレスに関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

看護師のストレスとバーンアウトについて

今後取り組みたい研究テーマ

認知症ケアに関すること

NURSE

Profile



高野 直美

Takano Naomi

- ・ 講師

研究分野 放課後児童クラブの安全管理

学位 修士（家政学）

学士（教養学・看護学）

看護教育に関する研究

子どもの事故防止・安全管理に関する研究

健康教育（食事と活動）に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

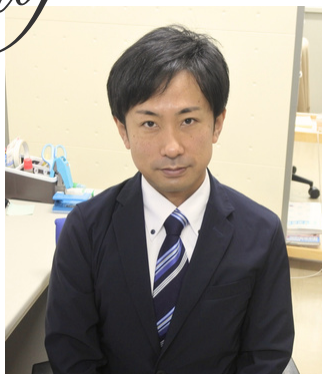
放課後児童クラブの職員を対象にした緊急時対応におけるeラーニング教材の開発、子どもの危険回避能力向上に関する調査研究、新型コロナウイルス感染症による大学生の生活の影響と健康教育の効果、看護基礎教育における血糖自己測定演習への持続血糖測定機器活用の試み、疾病や障害をもつ子どもへの多職種との連携に着目して支援する統合実習での学生の学び、通所施設における在宅重症心身障害児者へのパペットセラピー

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

NURSE

Profile



佐藤 和也

Sato Kazuya

- ・ 講師

研究分野 看護教育学・精神看護学

学位 修士（看護学）

- ・ 看護学実習における教員の教授活動に関する研究
- ・ 医療観察法病棟に所属する看護師の看護実践に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

精神看護学実習におけるコプロダクションに基づく学生の
実践

今後取り組みたい研究テーマ

学生と教員の知覚に基づく卓越した講義の教授活動モデル
の構築

Profile



川尻 洋美

Kawajiri Hiromi

- ・ 講師

研究分野 障害者の就労支援・難病相談
支援・難病ピアサポート

学位 修士（保健学）

難病のある人の就労支援に関する研究

難病相談支援センターの相談支援の質向上に関する研究

難病ピアサポーター養成研修プログラム作成など

現在取り組んでいる研究テーマ

全国の難病相談支援センターにおける難病ピアサポーター養成研修の実態調査と研修プログラム・テキストの検討、地域で生活する難病患者のQOL向上に資する地域ケアシステム構築の体制整備と人材育成に関する研究（分担研究テーマ：難病相談支援センターの難病相談支援員を対象とした研修ニーズの実態調査および研修プログラム・eラーニング教材の開発）、脳脊髄液漏出症患者の就学・就労上の困難性に関する調査

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

Profile



村田 亜夕美

Murata Ayumi

- ・ 講師

研究分野 看護教育学・看護管理学

学位 修士（看護学）

人材育成と看護師のキャリア発達に関すること
看護体制、看護業務のマネジメントに関すること

現在取り組んでいる研究テーマ

看護師の働き方に関する研究

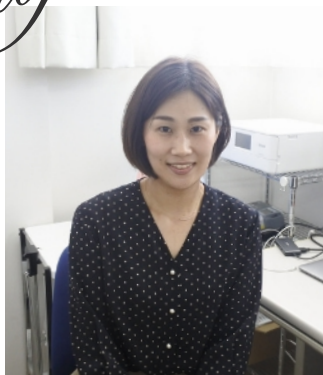
今後取り組みたい研究テーマ

看護提供体制や看護師の働き方に関する研究

看護学生・新人看護師の学びについての研究

呼吸器疾患患者の看護に関する研究

Profile



日下田 那美

Higeta Tomomi

・ 講師

研究分野 成人看護学

学位 修士（保健学）

がん患者のQOLに関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

成人看護学急性期実習における模擬患者参加型看護技術演習
導入の効果

今後取り組みたい研究テーマ

遺伝性乳がん患者における治療選択の意思決定を支える多
職種連携システムの開発

NURSE

Profile



廣瀬 文乃

Hirose Ayano

・ 講師

研究分野 母性看護学・助産学

学位 修士（保健学）

母性看護学分野、助産学分野

現在取り組んでいる研究テーマ

助産師課程の学生のシミュレーション教育、学内実習

今後取り組みたい研究テーマ

助産師学生のためのVR教育

NURSE

Profile



吉野 めぐみ

Yoshino Megumi

- ・ 講師

研究分野 母性看護学・助産学

学位 修士（保健学）

現在取り組んでいる研究テーマ

死産に関わる看護者に関する研究

助産師教育における死産に関する講義の充実化に向けた基礎的研究

今後取り組みたい研究テーマ

産科領域における代替療法に関する研究

無痛分娩に関する研究

NURSE

Profile



森田 綾子

Morita Ayako

- 助教
- 研究分野 看護教育学
学位 修士（看護学）

看護教育学

現在取り組んでいる研究テーマ

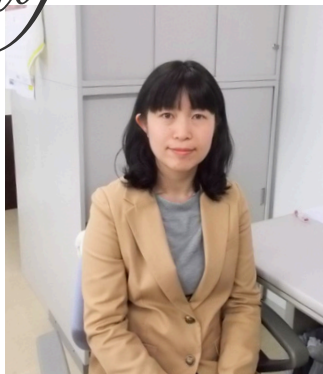
- カンファレンスでの学生の学び
- 患者教育に関する教授活動の解明

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

NURSE

Profile



林 恵

Hayashi Megumi

• 助教

研究分野 在宅看護

学位 修士（看護学）

現在取り組んでいる研究テーマ

在宅で生活する医療的ケア児の親による子の小学校入学先の
決定プロセス

今後取り組みたい研究テーマ

看護職による医療的ケア児の小学校入学支援モデルの構築

Profile



石川 恵

Ishikawa Megumi

・ 助教

研究分野 成人看護学

学位 修士（看護学）

糖尿病に関する看護支援

現在取り組んでいる研究テーマ

糖尿病患者の療養生活を支える看護支援の特徴に関する文献
検討

今後取り組みたい研究テーマ

膵臓がんをもつ糖尿病患者への血糖パターンセルフマネジ
メント支援プログラムの開発と評価

NURSE

Profile



伊藤 順子

Ito Junko

・ 助教

研究分野 看護学分野

学位 修士（保健学）

口腔粘膜炎、摂食嚥下障害、認定看護師、看護教育

現在取り組んでいる研究テーマ

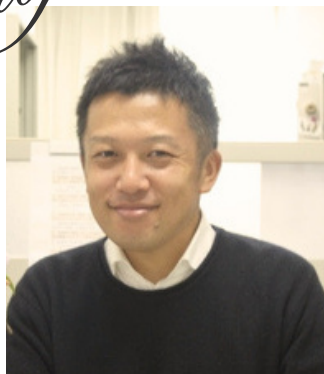
- 1)初回訪問時の摂食・嚥下障害看護認定看護師の視線行動の特徴
- 2)基礎看護技術教育の摂食嚥下障害看護認定看護師が「食事援助」講義を教授する意義

今後取り組みたい研究テーマ

- 1)基礎看護技術教育の摂食嚥下障害看護認定看護師が「食事援助」演習を教授する意義
- 2)（仮）誤嚥リスクを有する患者の「食べる」をめぐる支援形成方針プロセスの解明

NURSE

Profile



板垣 卓美

Itagaki Takumi

・ 助教

研究分野 摂食・嚥下障害看護分野

摂食・嚥下障害看護

現在取り組んでいる研究テーマ

認定看護師のワーク・エンゲイジメント

今後取り組みたい研究テーマ

認定看護師のやりがいをもつための研究、摂食嚥下障害看護に関わること

NURSE

Profile



林 真由美

Hayashi Mayumi

- 助手
研究分野 看護学分野
学位 修士（保健学）

現在取り組んでいる研究テーマ

腎代替療法選択における患者にとっての共同意思決定
(SDM) の意義と役割に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

- 上記研究の継続
- 回復期リハビリテーション病棟における意思決定支援
ツールOOVLの実装と課題に関する研究 -アクションリサ
ーチを通じた実践と展開より-

NURSE

Profile



根岸 仁美

Negishi Hitomi

・ 助手

研究分野 成人看護学分野

学位 学士（看護学）

現在取り組んでいる研究テーマ

がんサバイバーによるピアサポートの効果に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

- ・ 終末期がん患者の在宅看取りに向かう家族の認識変化の過程と訪問看護師の支援
- ・ 化学療法を受けながら就労継続する悪性リンパ腫患者の困難と看護支援に関する研究

NURSE

Profile



小保方 翔平

Obokata Shohei

• 助手

研究分野 精神看護学

学位 修士（看護学）

現在取り組んでいる研究テーマ

ケア困難場面における精神科看護師の患者との関係形成に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

ケア困難場面における精神看護師の患者との関係形成の行動と共感性の関連について

NURSE

Profile



金子 磨衣香

Kaneko Maika

• 助手

研究分野 老年看護学

学位 学士（看護学）

現在取り組んでいる研究テーマ

老年看護学実習において学生が抱く困難感に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

入院治療中の認知症高齢者との関わりに対する看護師の困難感

NURSE

Profile



吉川 美幸

Yoshikawa Miyuki

• 助手

研究分野 小児看護分野

学位 学士（看護学）

小児看護分野

現在取り組んでいる研究テーマ

思春期の医療的ケア児の支援ニーズに関する研究、疾病や障害をもつ子どもへの多職種との連携に着目して支援する統合実習での学生の学び、通所施設における在宅重症心身障害児者へのパペットセラピー

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

NURSE

Profile



清水 美歩

Shimizu Miho

・ 助手

研究分野 公衆衛生看護学

学位 学士（看護学）

現在取り組んでいる研究テーマ

老年看護学実習において学生が抱く困難感に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

発達障害児の療育支援に関する研究

NURSE

Profile



佐藤 満

Sato Mitsuru

- ・ リハビリテーション学部長・教授
- 研究分野 リハビリテーション工学
地域理学療法学
- 学位 博士（工学）

近隣社会への参加を伴う高齢者自立支援の成果尺度の開発、その尺度を活用した参加や役割再獲得の自立支援方法論の実践（第1回アジア健康長寿イノベーション賞優秀賞受賞：2020年）、高齢者の足底触覚と転倒との関連の解明、足底触覚閾値測定の転倒リスク判定への応用に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

足底感覚と転倒リスクの関連、基本的身体活動の分析

今後取り組みたい研究テーマ

理学療法士養成教育の質の評価に関する研究

Profile



岡崎 大資

Okazaki Daisuke

- 理学療法学科長・教授

研究分野 物理療法学・行動分析学・
運動学

学位 修士（文学）

磁気・振動を伴う温熱療法が脳血管疾患患者の筋緊張に及ぼす影響、心理的介入が疼痛耐性と下行性疼痛抑制系に及ぼす影響、慢性疼痛患者に対する生物心理社会モデルを基盤とした治療介入の効果

現在取り組んでいる研究テーマ

行動分析学を基盤とした介護予防介入

今後取り組みたい研究テーマ

慢性痛に対する生物心理社会モデルの研究、慢性痛者に対するアクセプタンス&コミットメント・セラピーを用いた介入研究

PHYSICAL THERAPY

Profile



木村 朗

Kimura Akira

- 教授

研究分野 臨床身体活動学・内部障害
生体機能系理学療法学

学位 博士（保健学）

糖尿病を主とする成人保健学分野の理学療法

副専門分野：ヒューマンファクターを主とする複合要因と健康事象の解明

1. 糖尿病患者、血管合併症予防のための身体活動量に関する研究
2. より簡易な定量的運動・動作表現・患者あるいは専門職間伝達方法の開発
3. 保健医療分野における研究デザインとデータ活用方法の開発と普及
4. NBMを基にした医療従事者教育方法の開発と応用
5. 健康長寿要因に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

失明者用通電信号知覚支援技術の実装化

今後取り組みたい研究テーマ

能力拡張支援教育の政策提言に寄与する疫学研究

Profile



鈴木 学

Suzuki Satoru

- 教授

研究分野 大殿筋の筋力強化肢位に関する研究、新しい教育方法としてのPBLチュートリアルによる学内および臨床の現場での教育効果についての研究

学位 博士（保健医療学）

現在取り組んでいる研究テーマ

学生からみた臨床実習での指導形態による指導効果の相違

今後取り組みたい研究テーマ

指導者からみた臨床実習での2対1指導形態と1対1指導形による指導効果の相違

Profile



富田 浩

Tomita Hiroshi

- 教授

研究分野 リハビリテーション科学・

医療福祉工学

学位 博士（理学療法学）

理学療法（運動療法）治療の基礎的研究（誘発筋電図や筋電図を用いた研究）

歩行補助具の処方や使用法に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

歩行時の“振りやすさ”に着目した杖の構造設計に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

歩行効率と安全性の観点からみた杖使用の効果と適応条件に関する研究

Profile



宗宮 真

Sohmiya Makoto

- 教授

研究分野 リハビリテーション医学

脳神経内科学

学位 博士（医学）

神経疾患のリハビリテーション

現在取り組んでいる研究テーマ

神経疾患の高次脳機能障害へのリハ効果の検討

今後取り組みたい研究テーマ

新規神経疾患治療薬のリハ効果への影響の検討

Profile



田代 尚範

Tashiro Naonori

- 教授

研究分野 人工呼吸器離脱・横隔膜機能障害・
集中治療後症候群

学位 博士（医学）

心臓・大血管手術後のリハビリテーションにおける非侵襲的陽圧換気療法の併用効果に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・ 心血管疾患における呼吸サルコペニアの早期発見システムの開発と治療戦略の構築
- ・ 人工呼吸器離脱の意思決定における横隔膜機能評価の臨床的有効性に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

群馬県における高齢者身体機能の地域格差と環境要因に関する研究

PHYSICAL THERAPY

Profile



浅田 春美

Asada Harumi

- 准教授

研究分野 リハビリテーション科・運動学・

理学療法教育

学位 修士（保健学）

現在取り組んでいる研究テーマ

基本的身体活動の分析と心理的因子との関連

今後取り組みたい研究テーマ

臨床実習教育の質評価に関する研究

Profile



洞口 貴弘

Horaguchi Takahiro

• 准教授

研究分野 認知神経科学・神経生理学

学位 博士（医学）

（専門分野）認知神経科学、神経生理学

1. 運動技能学習の獲得過程における標的位置の空間表象の変化とそれに関わる脳活動部位の変遷
2. 数値(マグニチュード)比較に関わる神経機構
3. 数字呈示により変化する注意の向く方向とそれに関わる神経機構
4. 書字に関わる神経機構

現在取り組んでいる研究テーマ

空間記憶、運動学習、数値大小判断と注意の移動

今後取り組みたい研究テーマ

上記の処理で活動する脳領域の特定・変遷

Profile



城下 貴司

Shiroshta Takashi

- ・ 講師

研究分野 運動学

学位 博士（スポーツ科学）

臨床現場では、スポーツ傷害だけでなく骨運動器疾患全般的にみています、特に入谷式足底挿板療法は積極的に行っています。またAustraliaでCertificate in Orthopaedic Manual Therapyも取得し徒手療法も得意です。東京都で高校野球のメディカルサポートもしています。研究領域では、足関節の運動学からみた身体運動のメカニズムを主に研究しています。

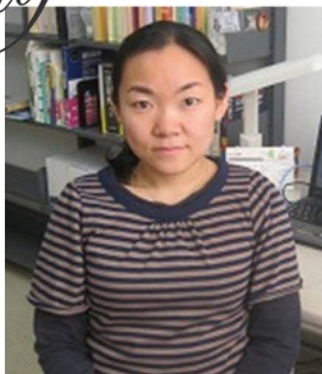
現在取り組んでいる研究テーマ

中学硬式野球選手の傷害調査、足底挿板療法と投球動作との関連性、足底挿板療法の有効性、Ybalance testと足部の運動学的関係性、超音波を使用した筋膜リリースの効果判定、プロ野球選手を対象としたメディカルチェック

今後取り組みたい研究テーマ

中学硬式野球選手の予防法、超音波を使用した前距腓靭帯損傷テストの実態

Profile



黒川 望

Kurokawa Nozomi

- ・ 講師

研究分野 神経生理学

学位 博士（医学）

立ち上がり動作における姿勢セット

現在取り組んでいる研究テーマ

体性感覚情報と立ち上がり動作

今後取り組みたい研究テーマ

高齢者における安全な立ち上がり動作指導法の開発

Profile



橋口 優

Hashiguchi Yu

- ・ 講師

研究分野 小児理学療法学・

神経系理学療法学

学位 博士（人間健康科学）

- ①肢体不自由児の運動機能に関する調査
- ②脳性麻痺児・脳卒中後片麻痺者の歩行に対するリズム聴覚刺激の効果
- ③脳性麻痺児・の歩行におけるシナジーの非負値行列因子分解を用いた定量的な評価（日本学術振興会 特別研究員 研究課題）
- ④脳性麻痺児・者に対するバーチャルリアリティを利用した介入の効果と適応（専門分野）小児学、神経学

現在取り組んでいる研究テーマ

- ①表面筋電図・加速度データに対する非負値行列因子分解を用いたシナジー解析、②特別支援学校における運動発達支援、③赤ちゃんと子育て世代に対する運動発達支援、④群馬クレインサンダーズユースチームを対象とした運動機能測定と動作解析、⑤発達障がいに対する運動療法

今後取り組みたい研究テーマ

典型発達児・肢体不自由児・発達障がい児等を対象としたインクルーシブな遊具・ゲーム・玩具の開発、小児を対象とした装具もしくは電動アシスティブデバイスの開発

Profile



加茂 智彦

Kamo Tomohiko

・ 講師

研究分野 前庭リハビリ・めまい・サルコ
ペニア・フレイル・システムテ
ィックレビュー・データベース

学位 博士（リハビリテーション科学）

地域在住高齢者におけるサルコペニア・フレイルに関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

めまいに関する研究、前庭リハビリテーションに関する研究、
前庭機能と姿勢に関する研究、VR酔いに関する研究、DPCデ
ータベースによる研究、デフアスリートにおける前庭機能とバ
ランスの関係、高齢者における加齢性前庭機能低下に関する研
究、リハビリテーション分野におけるシステムティックレビュー
・メタアナリシスに関する研究、脳卒中患者における前庭機
能とめまいに関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

前庭機能と体性感覚、視覚依存の関係
神経筋疾患における前庭機能に関する研究
簡易的で安価な前庭機能評価機器の開発
姿勢外乱と視覚外乱が姿勢制御に与える影響
脳震盪患者における前庭機能に関する研究

Profile



田辺 将也

Tanabe Masaya

・ 助教

研究分野 臨床身体活動学・産業理学療法
学・予防理学療法・高齢者理学療法・公衆衛生学

学位 博士（医療科学）

施設入所高齢者の健康状態を良好に保つための行動の起因調査や、
地域在住高齢者の介護予防活動における健康状態変化に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

- ①脳卒中者に対する神経補綴的機能的電気刺激の効果検証
- ②移動販売車利用者のウェルビーイング、フレイル、社会参加に関する研究
- ③地域資源を活用した多世代型健康支援プログラムの開発
- ④労働者の腰痛予防と健康増進に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

- ①神経補綴的機能的電気刺激と非侵襲センサを融合した、脳卒中者の在宅リハビリテーション支援技術の開発
- ②移動販売車を基盤とした健康支援・見守りモデルの構築と、複数地域での有効性検証
- ③地域資源とデジタル技術を活用した、多世代型健康支援プログラムの共同開発と社会実装
- ④ウェアラブル計測と運動介入を組み合わせた、労働者の腰痛予防・健康増進プログラムの開発

Profile



林 翔太

Hayashi Shota

・ 助教

研究分野 神経系理学療法・循環器理学療法・予後予測・臨床尺度・前庭リハビリ

学位 修士（保健学）

リハビリテーションに関する臨床疑問を背景とした臨床研究を主に行っています。

【現在の研究テーマ】

- ・ 臨床的意義のある最小変化量（MCID）に関する研究
- ・ 脳卒中患者に対する疲労後疲労に関する研究
- ・ 脳卒中患者の歩行予後予測に関する研究
- ・ 脳卒中患者の前庭機能に関する研究
- ・ DPCデータベースを用いたリハビリテーションに関する研究
- ・ リハビリテーション分野におけるシステムティックレビュー・メタアナリシス

現在取り組んでいる研究テーマ

視覚依存とバランス機能の関連性研究、末梢前庭障害患者における疾患別の垂直認知能力の比較、視覚依存を呈する脳卒中患者に対するTPAD介入の有効性の検討

今後取り組みたい研究テーマ

3D画像に基づく視覚的視性垂直位の開発と検討、VRとMRが視覚的視性垂直位に及ぼす影響の違い、エレベーター昇降時の垂直方向加速度知覚と動揺病感受性との関連、コンピュータを用いた動的視力評価システムの開発および信頼性の検証

Profile



青木 章乃

Aoki Akino

- ・ 助教

研究分野 スポーツ外傷・障害予防

スポーツ理学療法

学位 博士（医療工学）

アスリートの膝・足の怪我を予防するための科学的根拠を確立し、臨床やスポーツ現場で活用できる実践的な予防方法へつなげることを目指しています。

【現在の主な研究テーマ】

膝揺れ現象の定量化と、ACL損傷リスクの予測方法の確立

着地動作における下肢動的アライメントの改善や、予防プログラムの検討

足関節、バイオメカニクス、ACL損傷に関するスポーツ科学研究

現在取り組んでいる研究テーマ

前十字靭帯損傷予防と、膝揺れ現象に関わる原因解明

若年世代における足関節捻挫とその影響

群馬クレインサンダーズユースチームを対象とした運動機能測定と動作解析、陸上競技におけるバイオメカニクス・生理学的研究

今後取り組みたい研究テーマ

スポーツ試合分析を通じた外傷リスク場面の抽出

動作成熟度の定量化

Profile



竹原 敦

Takehara Shun

- 作業療法学科長・教授
- 研究分野 作業療法学・老年学
- 学位 博士（作業療法学）

- (1) 認知症の人と家族に対する生活支援システム
- (2) 高齢者および認知症の人に対する生活満足度ツール
- (3) 老年期における役割・習慣再獲得プログラム
- (4) 作業に焦点を当てた健康促進プログラム

現在取り組んでいる研究テーマ

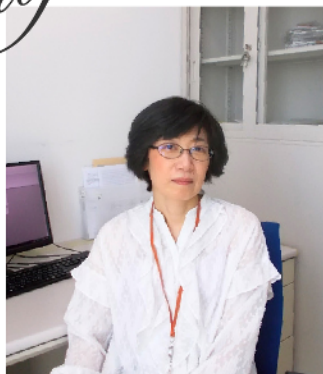
高齢者、認知症の人のQOL（特に、社会的役割、図書館、音楽）

今後取り組みたい研究テーマ

音楽と認知機能の関連、地域包括システムにおける図書館の意義

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



村田 和香

Murata Waka

- 教授

研究分野 作業療法学・老年学

学位 博士（保健学）

作業療法学、作業行動、老年期作業療法学を専門とします。作業療法の歴史、作業行動理論と関連諸理論、作業行動と健康との関連性について、また、地域で生活するためのヘルスプロモーションを迫及しています。

個々人の大切な「作業」を焦点とし、健康な生活を獲得するための作業療法の在り方を考え、その効果を研究しています。

現在取り組んでいる研究テーマ

高齢期および地域作業療法実践の概念モデルの生成

今後取り組みたい研究テーマ

作業療法の視点からの街づくり

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



石井 良和

Ishii Yoshikazu

- 教授

研究分野 作業療法学・精神系作業療法・
人間作業モデル

学位 博士（保健科学）

作業療法学、作業行動学、精神系作業療法学が専門です。具体的には作業行動学から展開してきた人間作業モデルの理論的な応用として、評価や介入についての可能性を追求しています。

現在取り組んでいる研究テーマ

人間作業モデルの評価作成および適用（精神領域）

今後取り組みたい研究テーマ

人間作業モデルの諸概念における現象学的理解

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



馬場 順子

Baba Naoko

• 教授

研究分野 精神障害・障害者就労支援・
障害者地域生活支援

学位 博士（作業療法学）

精神に障害を持って、希望する生活を続け働き続けるために
どのような支援が必要か、作業療法での精神障害者就労支援・精
神障害者生活支援を専門に研究しています。

現在取り組んでいる研究テーマ

障害者就労支援の効果的な支援手法

今後取り組みたい研究テーマ

障害者雇用の効果的な手法

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



本田 佳子

Honda Keiko

• 教授

研究分野 臨床栄養学（代謝性疾患）・

医療栄養学・栄養ケアマネジメント

学位 博士（障害科学）

- ・食事および栄養素摂取による生体機能および生体成分プロフィールへの影響の探求
- ・代謝性疾患に関する栄養食事療法に関する研究
- ・栄養ケアマネジメントの標準化に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・食の主観的Well-being質問票の開発
- ・J-MIND-Diabetes研究における栄養食事療法のアドヒアランス

今後取り組みたい研究テーマ

- ・食の主観的Well-being評価指標の確立 ・FINGER研究-社会実装プログラムにおける高齢者の生活習慣改善を通じて認知機能低下を予防するプログラムの価値評価

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



宮寺 寛子

Miyadera Hiroko

• 准教授

研究分野 災害・地域

学位 博士（作業療法学）

災害後、被災地域で生活が続ける方々が生活を再構築するプロセスに興味があります。地域で暮らす人々の健康的な生活を支援するため、作業療法が貢献できることを知りたいと思っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

災害に対する保健福祉専門職の備え

今後取り組みたい研究テーマ

不妊治療中の女性が抱える生活上の困難さ

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



吉岡 和哉

Yoshioka Kazuya

• 准教授

研究分野 特別支援教育・小児(発達領域)

作業療法・小児糖尿病

学位 修士(作業療法学)

教育と作業療法、発達療育の作業療法について研究に取り組んでいる

①小学校において作業療法の可能性に関する調査で、小学校の教諭に対するインタビューを実施し、クラス運営の中での困りごとを明らかにし作業療法の可能性を検討することができた。

②子どものQOLに関しては、日常生活の学校の課題や友だち関係など、どのような要因が影響しているか質問紙を用いて調査を行っている。

③子どもの頃の肥満も大人と同様に生活習慣が影響しており、作業療法の視点で子どもや保護者の行動変容につながる支援について調査を進めている。

現在取り組んでいる研究テーマ

- こどもの自己効力感に影響のある活動
- 学校における作業療法の役割

今後取り組みたい研究テーマ

子どもたちが過ごしやすい教室（幼稚園・保育園・小学校）
の在り方

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



近藤 健

Kondo Ken

- 講師

研究分野 身体障害の作業療法

学位 博士（保健学）

- 看護師と作業療法士の協働の効果
- 脳卒中上肢機能と箸操作の関係
- 自助具・治療器具の開発
- 入院高齢者に対するリハビリテーション
- がんのリハビリテーション「消化器がん患者における調理練習の効果」

現在取り組んでいる研究テーマ

- リハビリテーションへの3Dプリント技術の応用
- リハビリテーションへのエクサゲームの応用

今後取り組みたい研究テーマ

多職種連携における3Dプリント技術活用（医療職種以外の連携も含む、小・中学校教員やエンジニアなど）

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



松 崎 由 莉

Matsuzaki Yuri

- ・ 講師

研究分野 精神障害領域・発達障害
領域の作業療法学

学位 博士（保健科学）

人の認知や感情、社会的なつながりに関心をもち、さまざまな研究に取り組んできました。精神疾患をもつ方への認知リハビリテーションや、児童・高齢者を対象とした調査研究を行っています。最近では、視線入力装置を活用し、「人は何を感じ、何を考え、何を思うのか」を探る研究を進めています。

現在取り組んでいる研究テーマ

視線計測により重症心身障害者の関心を可視化する

今後取り組みたい研究テーマ

視線とNIRSの同時計測で内的状態の推定精度を高める

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



石代 敏拓

Ishidai Toshihiro

- 助教

研究分野 身体障害領域・高齢期領の
作業療法

学位 修士（作業療法学）

脳血管疾患や神経難病などを経験した方々がどのように生活を再構築していくかを研究しています。

業績等はresearchmapをご覧ください。

現在取り組んでいる研究テーマ

脳卒中後の家事に対する自己効力感尺度とプログラムの開発
/ 障害者の公正を目指したビジュアルメソドロジーを用いる
参加型アクションリサーチ

今後取り組みたい研究テーマ

作業療法士による参加型アクションリサーチ方法論的枠組みの開発

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



浅黄 真紀子

Asagi Makiko

- 助教
研究分野 精神障害・地域移行支援・
就労支援・リカバリー
学位 修士（作業療法学）

精神障害があるクライアントの地域移行支援や就労支援について研究しています。

現在取り組んでいる研究テーマ

就労移行支援サービスにおける精神障害のあるクライアントのリカバリーに対するピア相談実施の影響

今後取り組みたい研究テーマ

精神障害のある人の持続的就労を促進する
ナチュラルサポート評価尺度の開発

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



芝地 杏花

Shibachi Kyoka

- 助教

研究分野 身体領域・高齢期領域の作業療法

学位 修士（作業療法学）

シニア世代のスマートフォンに関するニーズとその支援について研究しています。

業績等はresearchmapをご参照ください。

現在取り組んでいる研究テーマ

シニア世代のスマートフォンに関するニーズと支援状況の調査

今後取り組みたい研究テーマ

地域在住者に対する興味・関心を基盤としたスマートフォン活用支援プログラムの実施

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



久保田 雄翔

Kubota Yuto

- 助教
研究分野 作業療法学
学位 学士（作業療法学）

現在取り組んでいる研究テーマ

農福連携における就労継続支援に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

農福連携の就労継続支援における評価の妥当性の検討

OCCUPATIONAL THERAPIST

Profile



石山 寿子

Ishiyama Hisako

・言語聴覚学科長・教授

研究分野 摂食嚥下障害・発声発語障害・

地域リハビリテーション・地域言語聴覚療法・

訪問リハビリテーション・オーラルフレイル

学位 博士（歯学）

オーラルフレイルと摂食嚥下障害、精神疾患患者の摂食嚥下障害、遷延性意識障害者の摂食嚥下障害と支援、地域言語聴覚療法と支援の推進

現在取り組んでいる研究テーマ

摂食嚥下障害関連：オーラルフレイルと発話機会との関係。精神疾患患者の摂食嚥下障害。遷延性意識障害者の摂食嚥下障害と支援（言語聴覚士含め）。地域関連：地域共生と街づくりに関する言語聴覚領域の支援の意義と方策および教育。発声発語関連：運動障害性構音障害の臨床に即した評価バッテリーの再構築と標準化。

今後取り組みたい研究テーマ

嚥下調整食の感応評価と食形態との整合性を高めるための方策と分析。言語聴覚療法における摂食嚥下障害の職域と現状分析および課題の抽出。運動障害性構音障害と摂食嚥下障害に関わる神経学的知見に基づいた徒手療法の効果。社会モデルに基づく言語聴覚士教育の重要性の分析。

Profile



白坂 康俊

Shirasaka Yasutoshi

- 特任教授
研究分野 病理言語学・病理音声学
学位 修士（文学）

(1)日本語の統語構造とその障がいのメカニズム

(2)日本語の発声発語と障がいの発現機序

(3)障がいのある方の地域参加

(4)共生の街創り

現在取り組んでいる研究テーマ

障がい者の権利条約およびICFに基づく共生の社会、地域創り。および、この理念と方法をいかにST教育で実施するか。

今後取り組みたい研究テーマ

障がいゆえに起こる冤罪について。地方におけるアクティブラーニングを活用したインクルーシブ教育から共生の社会創りを。

SPEECH THERAPIST

Profile



浅見 知市郎

Asami Tomoichirou

• 教授

研究分野 解剖学

学位 博士（歯学）

脊椎動物の舌の形成、角化の機構、比較形態学

現在取り組んでいる研究テーマ

現代の日本人における機能的検査による長掌筋欠如率

今後取り組みたい研究テーマ

より簡便に効率よく行える長掌筋の機能的検査について

SPEECH THERAPIST

Profile



北 義子

Kita Yoshiko

- 教授
- 研究分野 聴覚障害（小児/成人）・
言語発達障害
- 学位 修士（リハビリテーション学）

- 1) 他社との相互作用が難聴児の発達に与える影響
- 2) 聴覚障害青少年のセルフアドボカシーの獲得と移行期医療
- 3) 言語聴覚士の卒後教育

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・ 難聴児（者）の保護者に対する支援ニーズの全国調査
- ・ 難聴児（者）における移行期医療のシステム整備

今後取り組みたい研究テーマ

家族中心療育の質向上のための学習教材の作成。熟達言語聴覚士の臨床映像を対象に、「関係性の構築・動機付け」の暗黙知について分析を試みる。

SPEECH THERAPIST

Profile



石川 幸伸

Ishikawa Yukinobu

・ 教授

研究分野 失語症学・高次脳機能障害学・
音声障害学・嗅覚

学位 博士（保健医療学）

①喉頭摘出者の嗅覚障害について

②喉頭摘出者の代替発声について

③失語症者の語の産生について

④嗅覚フレイルについて

現在取り組んでいる研究テーマ

喉頭全摘出者の嗅覚向上のために開発した携帯型嗅覚知覚装置の効果検証

今後取り組みたい研究テーマ

- ・携帯型嗅覚知覚装置使用時の健常者のERPに関する研究
- ・携帯型嗅覚知覚装置使用時の遷延性意識障害患者のERPに関する研究

SPEECH THERAPIST

Profile



岡野 由実

Okano Yumi

- 准教授
研究分野 言語聴覚療法学・聴覚障害学・
オーディオロジー
学位 博士（リハビリテーション科学）

制度上の「障害」には該当しないグレーゾーンと呼ばれる軽度障害に興味があります。とくに一側性難聴や両側軽中等度難聴についての研究を主に進めています。また、言語聴覚士の仕事の中でも聴覚を専門としており、地域での聞こえの相談会の開催や、現職の言語聴覚士への研修、他職種に対する言語聴覚士の啓発活動にも力を入れています。

現在取り組んでいる研究テーマ

一側性難聴児の言語発達の検討

今後取り組みたい研究テーマ

一側性難聴者のピアカウンセリングの効果

SPEECH THERAPIST

Profile



遠藤 俊介

Endo Shunsuke

- 准教授

研究分野 言語発達学・言語発達障害学

学位 修士（児童学）

- 1)子どもの言語および共感的コミュニケーションの発達
- 2)保護者の関わりが子どもの言語発達に与える影響
- 3)子どもの言語発達を阻害する疾患および障がいとその支援方法

現在取り組んでいる研究テーマ

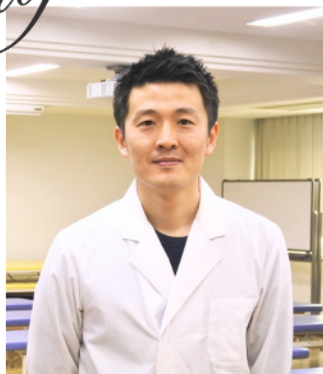
- ・レイトトーカー（言葉の遅れのある2-3歳児）の実態解明および追跡研究
- ・発達性言語症を幼児期前期に発見するための評価法の開発
- ・発達性言語症を就学前にスクリーニングするため評価法の開発

今後取り組みたい研究テーマ

- ・乳幼児健診でレイトトーカーおよび発達性言語症を発見するための体制づくり
- ・レイトトーカーに対する早期言語発達指導法の開発

SPEECH THERAPIST

Profile



後藤 遼佑

Goto Ryosuke

- ・ 講師

研究分野 生物人類学・機能形態学・

バイオメカニクス

学位 博士（人間科学）

類人猿・ヒトの進化に興味があります。特に現生の類人猿・ヒトが行うロコモーション（位置を移動するための運動で、例えばヒトの直立二足歩行）がどのように生じたのかを明らかにすることを大きな目的として研究をしています。その目的のために、ヒトを含む霊長類の身体のかたちを調べたり、実験室や野外で霊長類のロコモーションを計測しています。

現在取り組んでいる研究テーマ

- (1) 霊長類diagonal-sequence gaitの起源
- (2) 筋シナジー解析を用いたヒト直立二足歩行の独自性の解明
- (3) 固有背筋における活動位相シフトの機能の解明

今後取り組みたい研究テーマ

ヒト直立二足歩行におけるエネルギーフローの可視化

SPEECH THERAPIST

Profile



鈴木 倫

Suzuki Michi

- ・ 講師

研究分野 言語聴覚障害学・失語症学・
高次脳機能障害学・音声障害学
学位 博士（保健医療学）

- ・ アルツハイマー病患者の潜在記憶に関する研究
- ・ 喉頭摘出者における嗅覚障害に関する研究
- ・ 嗅覚リハビリテーションに関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・ 健常若年者の嗅覚訓練
- ・ 喉頭摘出者の嗅覚訓練
- ・ アルツハイマー病患者の潜在記憶

今後取り組みたい研究テーマ

- ・ 健常高齢者の嗅覚訓練
- ・ 言語聴覚学科学生の教育に関する研究

SPEECH THERAPIST

Profile



酒井 哲郎

Sakai Tetsuro

- ・ 講師

研究分野 言語聴覚療法学・構音障害・
嚥下障害・高次脳機能障害

学位 修士（保健学）

- ・ 言語聴覚療法における客観性のある評価の作成
- ・ 言語聴覚療法の評価の信頼性の検討
- ・ リハビリテーション手技の効果測定

現在取り組んでいる研究テーマ

- 1) 嚥下筋力と頸部筋力の関係性についての研究
- 2) 誰もが楽しめる嚥下食スイーツ実現に関する研究
- 3) 摂食嚥下リハビリテーションにおける経皮的電気刺激の影響の研究
- 4) 改訂水飲みテストの運用実態と課題に関する調査研究

今後取り組みたい研究テーマ

言語聴覚療法における客観的評価手法の作成

SPEECH THERAPIST

Profile



山田 俊幸

Yamada Toshiyuki

- ・ 副学長

医療技術学部 検査技術学科 教授

研究分野 臨床検査医学・臨床化学・臨床

免疫学・血漿蛋白・アミロイドーシス

学位 博士（医学）

- ・ アミロイドーシスの診断法に関する研究
- ・ 血清アミロイドA（SAA）蛋白の生理機能と病原性に関する研究
- ・ SAAの測定と臨床的意義に関する研究
- ・ M蛋白ほか血漿蛋白の検査法に関する研究
- ・ 血漿蛋白検査の標準化に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

血清アミロイドAとアミロイドーシスの研究

今後取り組みたい研究テーマ

アミロイドーシスのバイオマーカー開発

MEDICAL TECHNOLOGIST

Profile



松下 誠

Matsushita Makoto

- ・ 医療技術学部長・教授
- 研究分野 臨床化学・酵素化学
臨床検査医学
- 学位 博士（医学）

臨床化学検査の実践に還元させることを目的に、下記の研究を行っています。

1. タンパク質に特異性の高いニッケル-ピウレット反応の開発と臨床応用に関する研究
2. ABO血液型および分泌型/非分泌型と血清アルカリ性ホスファターゼ活性との関係に関する研究
3. 電気泳動法による小腸型アルカリ性ホスファターゼアイソフォームの分離法の開発に関する研究
4. 色素結合法を用いた血清アルブミン測定法の開発および改良に関する研究
5. 酵素法による新たなリポ蛋白分画法の開発に関する研究
6. 乳酸脱水素酵素のH型およびM型サブユニットの相対反応性の解明およびその臨床評価の確立に関する研究
7. クレアチンキナーゼ(CK)およびCK-MB活性測定における各アイソザイムの反応性の解明に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

臨床酵素の酵素化学的研究

今後取り組みたい研究テーマ

酵素反応を用いる検査法の開発・改良

Profile



寺澤 文子

Terasawa Fumiko

- 検査技術学科長・教授
- 研究分野 臨床化学・臨床生理学
学位 博士（工学）

長い期間遺伝子学的研究として、先天性異常フィブリノゲンの遺伝子解析、バイオテクノロジーを用いたフィブリノゲン欠損症の原因解析、CHO細胞を用いたフィブリノゲンの生成機序および細胞内動態に関する研究、等に携わってきました。現在は臨床生化学検査項目の測定法に関する研究に関心を持って取り組んでいます。

現在取り組んでいる研究テーマ

血中酸化型・還元型アルブミンの分別定量の意義と測定法に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

生体内酸化ストレス度と血中酸化型アルブミン変動に関する研究

Profile



高橋 克典

Takahashi Katsunori

- 教授

研究分野 免疫薬理学

学位 博士（医学）

[カルシニューリン制御因子に関する研究] 免疫抑制剤(タクロリムス、CsA)のターゲット蛋白として知られるカルシニューリンを制御する生体微量因子を探索し、その制御メカニズムを解明する。

[サイトカインを指標とした創薬スクリーニング] IL-2やIFN- γ などの各種サイトカインを指標として、合成化合物の中から新規免疫制御剤候補化合物を探索し、その作用メカニズムを解明する。

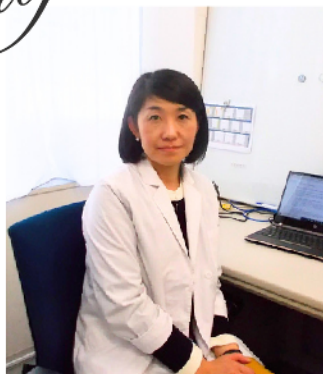
現在取り組んでいる研究テーマ

合成化合物を用いた免疫制御に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

培養細胞を用いた人工M蛋白血症サンプルの作成および免疫電気泳動法研究への応用

Profile



林 由里子

Hayashi Yuriko

- 教授

研究分野 分子生物学・血液学

学位 博士（保健学）

ヒトの疾患の究明や病態の解析、さらには治療法や診断法の確立を目的として、細胞やモデル動物を使った研究を行っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

- 末梢血好中球を標的とした新たな「エイジング・クロック」ツールの開発
- インフラマエイジングを司るヒト単球老化制御の新規分子基盤解明
- 臨床検体における血球表面抗原の発現安定性評価

今後取り組みたい研究テーマ

- 加齢性慢性炎症（inflammaging）の制御機構の解明
- 呼吸機能×末梢血免疫老化指標を用いたフレイル早期検出モデルの開発

MEDICAL TECHNOLOGY

Profile



加藤 潤一

Kato Junichi

- 研究教授・教授

研究分野 分子遺伝学・ゲノムサイエンス

学位 博士（理学）

細菌（大腸菌）についての分子遺伝学的研究、ゲノムサイエンス的研究を行っています。特にリボソーム関連遺伝子群の多面的機能、酸化ストレス関連機能について研究を行っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

新規抗菌戦略開発のための大腸菌のリボソームの酸化ストレス感受性および新規機能変異株の解析

今後取り組みたい研究テーマ

新規抗菌戦略開発を目指した大腸菌のリボソームの機能と酸化ストレス感受性との関連およびリボソームの新規機能の解析

MEDICAL TECHNOLOGY

Profile



木村 鮎子

Kimura Ayuko

・ 准教授

研究分野 分子生物学・病態医科学・タン

パク質化学・プロテオミクス

学位 博士（理学）

リン酸化・糖鎖付加などを含む翻訳後修飾は300種類を超え、タンパク質に機能的な可塑性を与えることによって、生命の複雑性を生み出しています。最新の質量分析技術や電気泳動法を用いて、癌など様々な疾患の複雑な病態機構に関わるタンパク質やタンパク質複合体の翻訳後修飾パターン変化の探索や機能解析を行うことにより、新しい疾患診断法や治療法の開発を目指した研究を進めています。

現在取り組んでいる研究テーマ

プロテオーム解析による疾患関連タンパク質の探索と機能解析

今後取り組みたい研究テーマ

緑膿菌の新規薬剤耐性関連因子の機能解析

Profile



荒木 泰行

Araki Yasuyuki

- 准教授
研究分野 生殖補助医療技術学
学位 博士（農学）

生殖補助医療に貢献する目的で、下記のような技術の開発を目指しています。

- 体外受精および胚発生の成績向上につながる技術
- 顕微授精などのマニピュレーションを用いて配偶子（卵子や精子）や胚を操作する技術
- 未成熟生殖細胞の体外成熟培養などの技術
- 生殖細胞の凍結保存技術

現在取り組んでいる研究テーマ

精子の体外成熟培養技術の開発

今後取り組みたい研究テーマ

継続研究

Profile



柳田 絵美衣

Yanagita Emmy

- 准教授

研究分野 病理学・病理検査学・細胞診断学・
がんゲノム解析・AI / Digital Pathology

学位 博士（医学）

現在取り組んでいる研究テーマ

- 病理検体の品質管理を基盤とした分子病理診断およびがんゲノム医療に関する研究
- デジタルパソロジー・AI画像解析に関する研究
- HPV関連発がん機構の分子病理学的研究
- アイトラッキングを用いた病理・細胞診教育に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

- 同一切片でのマルチモーダル統合解析（EF×最小限IHC）によるHCC/ICC鑑別
- 免疫多重染色と3D構築による脳腫瘍細胞とグリア細胞の相互作用機構の解明 など

Profile



石垣 宏尚

Ishigaki Hiroataka

- ・ 講師

研究分野 臨床化学・内分泌学・

免疫薬理学

学位 博士（医学）

・ 検査値に影響を及ぼす異常免疫グロブリンの解析 ・ ANA活性をもつmonoclonal IgAと反応するHep-2細胞成分の解析 病態を反映しないSpeckled型陽性を示したIgA- κ 型M蛋白血症例にて基質に用いたHep-2細胞のどの成分に対する反応かを解析する。

・ 泳動支持体である寒天成分の硫酸基と反応するmonoclonal IgG1の解析 寒天成分を支持体とした電気泳動を行った場合、M-bandが消失する monoclonal IgG1の分子性状、結合部位の解析。

現在取り組んでいる研究テーマ

骨格筋細胞の分化誘導における培養因子の検討

今後取り組みたい研究テーマ

骨格筋細胞を用いた筋萎縮抑制機構の解明と創薬基盤の構築

Profile



三浦 佑介

Miura Yusuke

- 講師

研究分野 臨床化学・分析化学

学位 博士（保健科学）

脂質分子の構造は多様であり、生体膜の構成、エネルギー代謝や生理活性など多くの機能に関係しています。脂質分子の変動や細胞に形成した脂肪滴が及ぼす病態生理学的な意義についての研究を行っています。また、脂質分子と病態メカニズムの関係性を解明し、新たな治療標的となる分子の探索について研究しています。

現在取り組んでいる研究テーマ

糖尿病性腎症の尿中脂質バイオマーカーに関する研究、合成化合物を用いた抗菌作用に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

薬剤耐性菌に対する新規抗菌薬の開発

MEDICAL TECHNOLOGY

Profile



澤田 裕也

Sawada Yuya

・ 講師

研究分野 臨床生理学

学位 修士（保健学）

様々な要因による生理学的検査への影響

各生理学的検査の精度管理方法

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・呼吸機能シミュレーターの開発と応用
- ・心電図検査における四肢電極の装着位置との関連
- ・呼吸機能検査における既知健常者による精度確認

今後取り組みたい研究テーマ

- ・肺拡散能（DLco）測定的基本的検討
- ・呼吸機能検査における県内の外部精度管理の確立
- ・各生理学的検査とフレイルとの関連

MEDICAL TECHNOLOGY

Profile



梶田 幸夫

Kajita Yukio

- ・ 講師
研究分野 輸血学

【資格】

- ・ 臨床検査技師
- ・ 認定輸血検査技師
- ・ 日本輸血・細胞治療学会 輸血機能評価認定制度（I&A制度）視察員

現在取り組んでいる研究テーマ

保存による赤血球の状態変化に関する検討

今後取り組みたい研究テーマ

- ・ 破壊された赤血球抗原による免疫刺激の検討
- ・ 臨床検査技師会と養成大学との連携について

MEDICAL TECHNOLOGY

Profile



高橋 あゆ子

Takahashi Ayuko

- 助教
学位 修士

【主な学会活動】

日本臨床検査技師会

現在取り組んでいる研究テーマ

臨床酵素CK-MBにおける活性値の試薬間差とサブユニット
反応性の差異との関係性に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

- CK-MB活性値とCK-MB酵素蛋白量の関連性の検討
- 肺機能、血管老化、慢性炎症および免疫老化の統合解析による生物学的老化の早期指標の探索

MEDICAL TECHNOLOGY

Profile



濱田 誠

Hamada Makoto

・助教

研究分野 病理学・病理検査学・
細胞診断学・がんゲノム

学位 学士（医療検査学）

【主な学会活動】

- ・日本臨床衛生検査技師会
- ・日本臨床細胞学会
- ・日本病理学会

現在取り組んでいる研究テーマ

HPV関連LSILにおけるL1発現・細胞形態・p16/Ki-67を統合した病理学的層別化

今後取り組みたい研究テーマ

免疫染色重染色と画像解析による、膵臓・甲状腺・乳腺の腫瘍-非腫瘍境界の客観的評価と臓器別診断支援の構築

MEDICAL TECHNOLOGY

Profile



渡 邊 浩

Watanabe Hiroshi

・ 放射線学科長・教授

研究分野 放射線科学・核医学検査技術学・

放射線防護学（放射線安全管理学）

学位 博士（医療科学）

放射線検査・治療の安全管理や放射線防護に関連する研究を行っています。放射線検査・治療は放射線や放射性物質を取り扱うため、それを扱う医療従事者や国民の安全を担保することが必要です。関連学会を中心に安全に放射線検査・治療を実施するためのガイドラインを作成しています。医療従事者や国民の安全を確保した上で適切な放射線検査・治療に支障を生じさせない合理的なガイドライン等にはエビデンス（論文）が必要になります。このような研究を行うとともに医療被ばくやリスクコミュニケーション等に関する研究も行っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

医療従事者の職業被ばく管理

今後取り組みたい研究テーマ

医療従事者の職業被ばく管理 and CT遮蔽計算

Profile



西澤 徹

Nishizawa Toru

- 教授

研究分野 医事法規・診療放射線技師教育・
放射線安全管理学

学位 博士（医学）

- 診療放射線技師法の改正に向けての課題整理
- 診療放射線技師の卒前・卒後教育のあり方の調査研究
- 診療放射線学生の実習における到達目標の設定と実習評価法の開発
- 診療放射線領域における放射線医療安全管理者の育成

現在取り組んでいる研究テーマ

診療放射線技師法改正に向けての論点整理

今後取り組みたい研究テーマ

生成AIを活用した診療放射線学生の教育

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



高橋 哲彦

Takahashi Tetsuhiko

• 教授

研究分野 放射線機器工学・磁気共鳴医学・
医用画像工学

学位 博士（工学）

現在取り組んでいる研究テーマ

- 放射線機器工学（X線検出器、X線CT、MRIなど）
- 磁気共鳴医学（臨床アプリケーション、RFコイルなど）
- 医用画像工学（MRI画像処理・信号処理など）
- 診断支援アプリケーションに関する研究（MRIによる脳診断支援・認知症診断支援技術など）

今後取り組みたい研究テーマ

診療放射線分野（MRI）でのAI(人工知能) 技術の利活用

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



加藤 英樹

Kato Hideki

- 准教授

研究分野 デジタル医用画像の評価法・
医療情報システムに関する領域

学位 修士（保健学）

1. デジタル医用画像の取得から表示までの一貫性について
2. デジタル医用画像の画像評価法に関する研究
3. 医療情報システムにおけるシステム連携に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

- 診療放射技師教育の国際間比較
- 診療放射技師教及び放射線医療機器の地理的偏在

今後取り組みたい研究テーマ

医学教育におけるAIを用いた学修支援

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



茂木 俊一

Motegi Shunichi

- 准教授

研究分野 磁気共鳴（MR）撮像技術学

学位 博士（医学）

MRI撮像技術における臨床的有用性・再現性に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

deep learning技術を応用したMRI画質検討の研究

今後取り組みたい研究テーマ

MRIにおける体内インプラントに対する電磁波抑制シー
トの発熱抑制に関する研究

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



渡邊 城大

Watanabe Kunihiro

• 准教授

研究分野 磁気共鳴撮像技術学・救急撮影
技術学・有限要素解析

学位 博士（放射線学）

【資格】

診療放射線技師、上級磁気共鳴専門技術者、胃がん健診専門
技師、救急撮影認定技師、第一種衛生管理者、臨床実習指導
教員、放射線機器管理士

現在取り組んでいる研究テーマ

磁気共鳴を用いた各撮像法に関する研究

救急における撮影手法に関する研究

膝関節・乳房領域の有限要素法に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

上記研究の継続

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



福島 康宏

Fukushima Yasuhiro

- 准教授
研究分野 X線CT・医用画像解析
学位 修士（社会健康医学）
博士（医学）

- CT・MRI造影剤の安全性評価と副作用リスクファクタの解明
- CT撮像における放射線被ばく線量の最適化と管理手法の開発
- CT画像の臨床応用評価

現在取り組んでいる研究テーマ

ヨード・ガドリニウム造影剤の副作用の解析
CT撮影線量の調査および最適化
CT・MRI・PETの体組成解析

今後取り組みたい研究テーマ

学生の国家試験対策に関する研究

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



星野 洋満

Hoshino Hiromitsu

- 講師

研究分野 核医学検査技術学・放射線治療
技術学・放射線防護学

学位 博士（医学）

核医学検査技術と放射線治療技術の進化は、現代医療に革命をもたらしています。これらの技術は、患者の診断や治療に効果的な手法を提供し、人々の生活を大きく向上させています。さらに放射線防護の研究が進むことで、医療従事者や患者の安全性が向上し、より多くの人々が安心して放射線技術を利用できるようになります。核医学と放射線技術の最新動向とその応用がもたらす医療技術の開発及び研究を行っております。

現在取り組んでいる研究テーマ

腎機能を考慮した骨シンチグラフィ検査の最適化

今後取り組みたい研究テーマ

AR技術を利用した手指被ばく低減アプリ開発

Profile



土田 拓治

Tsuchida Takuji

- 講師

研究分野 医療画像情報学・医用画像工学

診療画像技術学・画像診断学

学位 博士（放射線学）

画像類似度による乳房画像分析の研究

一般撮影における再撮影低減システムの研究

DRの精度管理に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

Task based MTFによる解像特性法の研究（画像工学）

今後取り組みたい研究テーマ

画像類似度を用いたCADの研究（画像工学）

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



磯 昌宏

Iso Masahiro

- 講師
研究分野 放射線治療技術学

- マンモグラフィ領域におけるデータベースの構築
- MU値の独立検証

現在取り組んでいる研究テーマ

電子線MU独立検証（放射線治療）

今後取り組みたい研究テーマ

上記の研究継続

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



櫻井 典子

Sakurai Noriko

- 講師
研究分野 診療画像解析学
学位 博士（保健学）

診療画像のソフトウェア評価、脳機能計測

現在取り組んでいる研究テーマ

fMRIを用いたリラクゼーション効果の脳機能研究

今後取り組みたい研究テーマ

NIRSとfMRIを用いたリラクゼーションに関する脳機能研究

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



小山 登美夫

Koyama Tomio

- 講師

研究分野 放射線計測学・放射線治療技術学

外部放射線装置のモニタユニット(MU)計算

放射線治療品質管理 X線全身照射

現在取り組んでいる研究テーマ

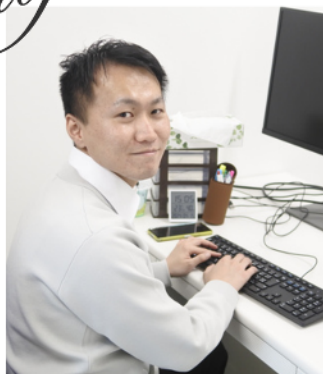
高エネルギーX線治療におけるMU値計算と独立検証

今後取り組みたい研究テーマ

リニアック標準計測法24における水吸収線量評価とその普及

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



後藤 大輝

Goto Daiki

- 助手

研究分野 放射線検査環境学・診療放射線学

学位 修士（保健学）

[放射線検査中の患者負担軽減に関する研究]

[診療放射線技師の労働環境に関する研究]

診療放射線技師、患者さんの両方の観点から、より良い検査環境づくりを目指します。

現在取り組んでいる研究テーマ

新型MRI装置による新技術での撮像

今後取り組みたい研究テーマ

放射線教育用教材の作成、患者の負担軽減

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



白水 里佳

Shirouzu Rika

- 助手

研究分野 放射線技術学・磁気共鳴技術学

学位 学士（放射線・情報科学）

放射線技術学・磁気共鳴技術学

現在取り組んでいる研究テーマ

MRI画像における再構成技術と画像品質の関係に関する基礎的検討

今後取り組みたい研究テーマ

MRI画像を用いたワークステーションにおける3D画像解析の基礎的検討と臨床応用に関する研究

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



赤岡 歩紀

Akaoka Ibuki

- 助手
研究分野 磁気共鳴技術学
学位 学士（放射線）

- MRI精度管理（スライス厚測定）
- MRI QSM

現在取り組んでいる研究テーマ

MRI画像におけるディープラーニング再構成効果の基礎的検討

今後取り組みたい研究テーマ

MRI検査のQSMにおける再構成技術などに関する基礎的検討

RADIOLOGICAL SOCIETY

Profile



花田 三四郎

Hanada Sanshiro

- ・ 臨床工学科長・教授
- 研究分野 生体医工学・組織工学・血管生物学
動物実験代替・再生医療
- 学位 博士（工学）

三次元細胞培養技術を基盤に、in vitro/ex vivoにおける生体臓器代替物の構築に関心を持っています。実質組織の血管化という課題を克服し、大型臓器構築や人工臓器等へと応用することを目標としています。動的な生体プロセス開発を細胞生物学、工学、数理などの多方向のアプローチで実現し、臨床工学の発展に貢献したいと考えています。

現在取り組んでいる研究テーマ

血管を配備した生体組織の三次元構築

今後取り組みたい研究テーマ

- ・ 医用材料の慢性毒性試験が可能な評価系の開発
- ・ 非接触・非侵襲な3次元組織計測

CLINICAL ENGINEER

Profile



木村 博一

Kimura Hirokazu

- 教授

研究分野 微生物学・感染症学・生体防御学

学位 博士（工学）

病原体（ウイルス・細菌）の進化に関する研究を行っています。また、感染症の重症化の機構解明や病原体検査法の開発に関する研究も行っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

感染症の予防・検査診断・治療に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

継続研究

CLINICAL ENGINEER

Profile



大濱 和也

Ohama Kazuya

- 教授

研究分野 生体医工学分野・在宅血液透析・

在宅医療

学位 修士（医科学）

透析医療の感染予防についての委員会活動を継続してまいりました。赴任する前の埼玉県では在宅血液透析を行っている患者さんが日本で1番多く存在しておりました。そのきっかけを作って頂いた腎臓内科医に指導頂き取り組んできた結果であると考えます。自由度が高く回数制限が無く、家で行う治療は腎臓移植にも匹敵する結果を残してきたのです。欧米では1万人を超える方々がその治療を行っておりますが、我が国では760名ほどの方々が行っているにしかすぎません。専用装置が存在しないなど問題点も多数ありますので今後も研究を継続し広く普及活動を続けてまいります。

現在取り組んでいる研究テーマ

血液浄化療法に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

新たな血液浄化法

CLINICAL ENGINEER

Profile



松岡 雄一郎

Matsuoka Yuichiro

- 准教授

研究分野 生体医工学・Interventional MRI

学位 博士（工学）

非侵襲および低侵襲診断や治療の性能、効果を向上させるための技術、および安全性に関して、電気・電子工学、電磁気学など工学の観点から研究を行っています。

①MR内視鏡システム開発に関する研究

②血管内RFコイル開発に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

MRシステムのハードウェア開発

MRの安全性

CLINICAL ENGINEER

Profile



齋藤 慎

Saito Makoto

- 准教授
研究分野 生体医工学・組織工学
学位 修士（保健学）

フィラピー療法に関する基礎的研究
血液浄化療法におけるモニタリングの研究

現在取り組んでいる研究テーマ

遠赤外線照射による血管新生関連遺伝子およびタンパク質の
発現に関する基礎的研究

今後取り組みたい研究テーマ

遠赤外線照射に関する次世代シーケンサーを用いたmRNA
およびmicroRNA発現解析による血管新生因子の網羅的解析

CLINICAL ENGINEER

Profile



齋藤 悠

Saito Haruka

- 准教授

研究分野 呼吸器疾患・アレルギー・免疫・
代謝性疾患

学位 博士（医学）

呼吸器・アレルギー内科医として、気管支喘息をはじめとする、気道炎症におけるプロトン感受性受容体や新規炎症収束性脂質メディエーターについて研究を進めてきました。さらに、気道炎症と糖尿病や肥満などの代謝性疾患との関連性についても研究を進めています。

現在取り組んでいる研究テーマ

新規炎症収束性脂質メディエーターの気道炎症における役割

今後取り組みたい研究テーマ

在宅酸素療法中の患者の臨床検体と脂質メディエーターとの関連性について

CLINICAL ENGINEER

Profile



島崎 直也

Simazaki Naoya

- ・ 講師
研究分野 血液浄化療法
学位 博士（工学）

- ・ 体外循環血液回路内雑音の連続モニタリングによる回路内凝固の検出
- ・ 血液透析用留置針の側孔が脱血特性に及ぼす影響に関する数値流体力学に基づく理論検討

現在取り組んでいる研究テーマ

血液透析用留置針の解析

今後取り組みたい研究テーマ

血液透析用留置針の解析

CLINICAL ENGINEER

Profile



宮川 浩之

Miyakawa Hiroyuki

- 講師
研究分野 血液浄化療法・医療安全
学位 修士（人間科学）

アフレスリス療法、急性血液浄化療法、在宅透析、透析用穿刺針の流量評価、血液浄化装置機能まで広範囲な血液浄化療法について研究を行っております。また、透析用監視装置機能と医療安全について、これまでの事例報告から分析し、より安全な血液浄化療法に必要な装置機能の検討も行っております。

現在取り組んでいる研究テーマ

電解水（水素水）透析の効率化に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

CRRTでの水素水化透析液使用に向けた研究

CLINICAL ENGINEER

Profile



丸下 洋一

Marushita Yoichi

- 講師
研究分野 数値流体力学
学位 博士（工学）

現在取り組んでいる研究テーマ

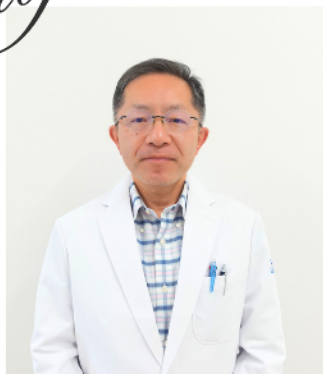
血液透析用ダブルルーメンカテーテルの再循環に関する流れ解析による検討

今後取り組みたい研究テーマ

血液透析用ダブルルーメンカテーテルの最適設計を目的とした流れ解析による検討

CLINICAL ENGINEER

Profile



安野 誠

Anno Makoto

- 講師
研究分野 体外循環・補助循環

心臓血管外科手術に必要とされる“人工心肺”と心臓を停止する際の“心筋保護法”についての研究を行っています。また重症な心不全、呼吸不全患者に装着する補助循環装置（ECMOなど）についても研究を行っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

ECMO中の結露対策について

今後取り組みたい研究テーマ

ECMOの非水系加温方式の開発について

CLINICAL ENGINEER

Profile



須田 貴大

Suda Takahiro

- 助教

研究分野 生体医工学・組織工学・
生体分子

学位 修士（医療技術学）

- 三次元細胞培養技術を基にした生体臓器代替物(腎)の構築に関する研究
- 人工膜の生体適合性に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

透析膜と血漿タンパク質間の吸着における分子間相互作用の
In Silico解析

今後取り組みたい研究テーマ

体外式膜型人工肺と血漿タンパク質間の吸着における分子間
相互作用のIn Silico解析

CLINICAL ENGINEER

Profile



竹下 彪我

Takeshita Hyuga

- 助教

研究分野 統計科学・医療安全・血液
浄化療法

学位 学士（工学）

医療安全分野において、アンケート調査等を用いた実証研究を行い、医療従事者の行動や組織環境に関連する要因を統計学的に検討しています。

現在取り組んでいる研究テーマ

病院組織における患者安全リスク共有行動の規定要因：サード・リーダースhipと心理的安全性に着目した構造方程式モデリング

今後取り組みたい研究テーマ

- ・ヒトパラインフルエンザウイルス2型HN遺伝子の国際的分子疫学と構造機能進化の統合解析
- ・医療系大学生におけるBLS/AED教育が基本的蘇生技能自己効力感に及ぼす影響
- ・血液浄化に関する研究

CLINICAL ENGINEER

Profile



松岡 李奈

Matsuoka Rina

- 助手

研究分野 公衆衛生学（ウイルス・疫学・
バイオインフォマティクス）

学位 学士（臨床工学）

ウイルスの進化に関する研究を行っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

ノロウイルス変異株とHBGA s 認識における糖鎖結合機構の
構造・ドッキング解析

今後取り組みたい研究テーマ

継続研究

CLINICAL ENGINEER

Profile



島村 夏実

Shimamura Natsumi

- 助手
研究分野 公衆衛生学・栄養学
学位 修士（公衆衛生学）

現在取り組んでいる研究テーマ

- 高齢者の摂食行動に影響する要因解析
- 咀嚼行動の改善のための味覚による介入

今後取り組みたい研究テーマ

- 子どもの成長に伴う摂食行動の変化の観察
- 各ライフステージに応じた咀嚼に関する食育プログラムの開発

CLINICAL ENGINEER

Profile



峯村 優一

Minemura Yuichi

• 教養部長・准教授

研究分野 倫理学・哲学・生命倫理・

研究倫理

学位 博士（哲学）

人間の生と死について人の同一性理論を用いて研究してきました。人間が生存するために本質的な役割を果たす特性を人の同一性理論を用いて分析しています。人の同一性理論の生物説やアリストテレスの生物観を擁護して自らの見解を提唱しています。また、倫理や組織に関する評価尺度の先行研究を参照し応用しながら、日本の研究者の公正な研究活動や組織環境を評価する尺度開発の研究をしています。

現在取り組んでいる研究テーマ

人の同一性と生命倫理（心理説/生物説の比較分析）

今後取り組みたい研究テーマ

人の生命と同一性の哲学的・医学的統合研究

CULTURE

Profile



星野 修平

Hoshino Syuhei

- 教授

研究分野 診療放射線学教育学・診療画像
情報学・放射線システム情報学

学位 修士（社会情報学）

- 診療放射線学教育学に関する研究
- 診療画像情報学に関する研究
- 放射線システム情報学に関する研究

現在取り組んでいる研究テーマ

医療系大学における教育課程(教養科目)の編成に関する研究

今後取り組みたい研究テーマ

大学教育における学術の体系化

CULTURE

Profile



徳永 慎也

Tokunaga Shinya

- 准教授

研究分野 アメリカ文学・アメリカ研究

学位 修士（国際文化）

アメリカ研究の中でアメリカ文学を研究してきました。
多くの人種やエスニシティが存在し、多種多様な人間や文化が
共存し、ときに対立しながらお互いに影響し合っているアメリカ
合衆国では、「アメリカ」とは何かという問いがいつもそこにあり
ます。文学を通してアメリカとは何かを考えています。具体的
には、Truman Capoteという作家を中心に研究をしています。

現在取り組んでいる研究テーマ

トルーマン・カポーティ文学におけるケアの倫理—周縁化さ
れた声と他者への応答—

今後取り組みたい研究テーマ

アメリカ文学におけるケアの倫理—声・応答・関係性の表
象—

CULTURE

Profile



衣川 隆

Kinugawa Takashi

・ 講師

研究分野 野球トレーニング科学・文学・
生涯スポーツ

学位 学術修士

児童期から生涯にわたり、投球障害を起こさないための機能的な運動連鎖のトレーニングやストレッチングを研究する。ボール投げの目的は、能力の格差がつきやすい動作の一つであり、人間の身体諸器官の発達過程を踏まえれば、神経系機能の発達が著しい思春期以前の時期（幼児・児童期）は、動きの獲得やその質の向上に最も適した時期になるため、この時期に多様な動きを経験し、さまざまな基礎的な動きを身につけることは、非常に重要な意味を持つ。

また、正しい姿勢について検討していくと、股関節と肩関節の動きとその周辺筋群の柔軟性が重要であり、更に二関節筋を連動したストレッチの効果を検討することで、日常生活はもちろん生涯スポーツ能力の向上や障害予防にもつながる。同時に栄養学も健康やスポーツと切り離すことができない分野であり、情報も日進月歩であるため常にその情報を集め研究する。

現在取り組んでいる研究テーマ

- ・ 投球キネティックチェーンとそのパフォーマンス向上
- ・ 老化と健康とトレーニング

今後取り組みたい研究テーマ

- ・ 投球キネティックチェーンを向上させるトレーニング及びストレッチング
- ・ 老化と健康とトレーニング及びストレッチングの関係

Profile



岩城 翔平

Iwaki Shohei

- 講師

研究分野 スポーツ科学

学位 修士（体育科学）

〔アスリートの筋形態および筋機能に関する研究〕

筋形態および筋機能を測定・評価し、パフォーマンスとの関係性について解明する。

〔スポーツパフォーマンスの向上に関する研究〕

熟練したアスリートや指導者が叫ぶ"勘"や"コツ"を科学的に検証し、その"からくり"を再現性のある情報として明らかにすることを目標としている。

現在取り組んでいる研究テーマ

医療系大学生野球選手の体力特性

今後取り組みたい研究テーマ

医療系大学生野球選手におけるシーズン前後の体力変化

CULTURE

Profile



伊藤 葉

Ito Siori

- 助教

研究分野 臨床心理学・生理心理学

学位 博士（心理学）

こころとからだの関係について生理心理学的手法，調査などを用いた研究をしています。特に，心身に対する気づき，健康やストレスの問題について興味を持っています。また，臨床場面において，心身の状態をセルフコントロールすることを目指すバイオフィードバックや緊張や不安を和らげるためのリラクセーション技法の実施とその効果にも興味を持っています。

現在取り組んでいる研究テーマ

身体反応の気づきとメンタルヘルス

今後取り組みたい研究テーマ

心理教育

CULTURE



群馬パーズ大学
研究・産学連携推進室
TEL 027-383-0383
Mail paz-kenkyu@paz.ac.jp